



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL https://www.keywere.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,626	7.3	△23	—	38	—	51	—
2019年3月期第2四半期	8,037	8.4	△83	—	△34	—	△39	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 55百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	6.11	—
2019年3月期第2四半期	△4.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,950	6,082	68.0
2019年3月期	9,774	6,296	64.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,082百万円 2019年3月期 6,296百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	2.5	400	24.9	420	5.2	330	△4.1	39.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	9,110,000株	2019年3月期	9,110,000株
2020年3月期2Q	895,031株	2019年3月期	607,643株
2020年3月期2Q	8,408,132株	2019年3月期2Q	8,502,357株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2019年11月11日に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様および説明内容(音声)については、決算補足説明資料とともに、説明会開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調にあったものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、東アジア・中東における地政学的リスク等の影響により世界経済の下振れリスクが高まるなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年10月に経済産業省が発表した2019年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比6.4%増と11ヵ月連続で前年を上回りました。また、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比4.3%増と12ヵ月連続で前年を上回りました。

このような事業環境のもと、当社グループは、「基盤事業<sup>(※)</sup>の拡大と収益向上」「新規事業の創出・育成」「社員の働きがい向上」を主要方針として取り組みを進めました。基盤事業においては、大型請負案件の獲得やデジタルトランスフォーメーション領域拡大に向けた取り組みに努めたほか、顧客の需要に応える体制を構築すべく、戦略的に人材リソースを確保するための施策を実施しました。新規事業においては、農業ICT、医療・ヘルスケア領域での取り組みを継続するとともに、働き方改革実現に向けたITシステム構築やRPA導入の提案活動に積極的に取り組みました。また、社員一人ひとりが能力を発揮し安心して働くことができるよう、健康経営や職場環境の整備を推進し、健康保険組合連合会東京連合会「健康優良企業(銀の認定)」のほか、子育てサポート企業として厚生労働大臣認定の「くるみん」を取得しました。

※ 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業を基盤事業と位置付けております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は9,105百万円(前年同期比354百万円増、4.0%増)、売上高は8,626百万円(同588百万円増、7.3%増)、営業損失は23百万円(前年同期は83百万円の損失)、経常利益は38百万円(同34百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円(同39百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

受注高は5,916百万円(前年同期比126百万円減、2.1%減)、売上高は5,568百万円(同39百万円減、0.7%減)、営業損失は97百万円(前年同期は82百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、金融系において見込んでいた案件の獲得ができず前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に加え、一部不採算プロジェクトが発生したことなどが影響し、損失計上となりました。

#### ② SI事業

受注高は2,463百万円(前年同期比403百万円増、19.6%増)、売上高は2,316百万円(同665百万円増、40.3%増)、営業利益は145百万円(同69百万円増、90.9%増)となりました。

受注・売上高につきましては、ERP系が好調に推移したことなどにより、前期比で大幅に増加いたしました。営業利益につきましては、売上高の大幅な増加に伴い、前期比で増加いたしました。

#### ③ その他事業

受注高は725百万円(前年同期比76百万円増、11.8%増)、売上高は741百万円(同37百万円減、4.8%減)、営業損失は36百万円(前年同期は12百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、サポートサービス系が堅調に推移し、前期比で増加いたしました。売上高につきましては、見込んでいたライセンス販売案件、コンサルティング案件の獲得が進まず、前期比で減少となりました。損益面に関しましては、売上高の減少に伴い損失計上となりました。

なお、期初に行った組織変更に伴い、前連結会計年度まで「その他事業」に所属しておりましたEC/Web系業務およびコンサルティング業務の一部(コンサルティング業務から派生した開発・運用工程部分)を、それぞれ「システム開発事業」「SI事業」へ移管いたしました。これに伴い前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替えを行っており、前年同期比につきましては組替え後の数値によっております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

#### ① 流動資産

流動資産残高は、5,779百万円(前連結会計年度末比653百万円減、10.2%減)となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

#### ② 固定資産

固定資産残高は、3,171百万円(前連結会計年度末比171百万円減、5.1%減)となりました。主な変動要因は、ソフトウェアの減少、投資有価証券の減少であります。

#### ③ 流動負債

流動負債残高は、2,550百万円(前連結会計年度末比499百万円減、16.4%減)となりました。主な変動要因は、短期借入金の減少、賞与引当金の減少であります。

#### ④ 固定負債

固定負債残高は、316百万円(前連結会計年度末比112百万円減、26.1%減)となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少であります。

#### ⑤ 純資産

純資産残高は、6,082百万円(前連結会計年度末比213百万円減、3.4%減)となりました。主な変動要因は、自己株式の増加であります。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,412百万円(前連結会計年度末比237百万円増、20.3%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、たな卸資産の増加(226百万円)、未払消費税等の減少(104百万円)、賞与引当金の減少(153百万円)などがあったものの、売上債権の減少(1,133百万円)などにより、793百万円の増加(前年同四半期は212百万円の増加)となりました。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出(11百万円)、投資有価証券の取得による支出(50百万円)などにより、40百万円の減少(前年同四半期は67百万円の減少)となりました。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純減(300百万円)、長期借入金の返済による支出(113百万円)、配当金の支払(101百万円)により、514百万円の減少(前年同四半期は579百万円の減少)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2019年4月26日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として売上が第4四半期に集中する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の売上高および損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,174,139	1,412,056
受取手形及び売掛金	4,959,083	3,825,327
商品及び製品	40,430	53,236
仕掛品	134,158	347,405
その他	128,401	145,015
貸倒引当金	△3,894	△3,922
流動資産合計	6,432,319	5,779,118
固定資産		
有形固定資産	99,616	105,560
無形固定資産		
のれん	191,782	181,128
その他	201,818	141,215
無形固定資産合計	393,601	322,343
投資その他の資産		
投資有価証券	2,618,514	2,502,457
その他	230,939	240,719
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	2,849,409	2,743,131
固定資産合計	3,342,628	3,171,036
資産合計	9,774,948	8,950,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,624	943,039
短期借入金	300,000	-
1年内返済予定の長期借入金	226,664	226,664
未払法人税等	60,404	48,723
賞与引当金	706,496	552,735
受注損失引当金	56,607	65,200
その他	822,674	714,037
流動負債合計	3,049,471	2,550,400
固定負債		
長期借入金	320,008	206,676
資産除去債務	108,883	109,884
その他	-	213
固定負債合計	428,891	316,773
負債合計	3,478,362	2,867,174
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	4,201,386	4,150,704
自己株式	△159,243	△325,928
株主資本合計	6,286,617	6,069,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,249	23,856
退職給付に係る調整累計額	△12,281	△10,126
その他の包括利益累計額合計	9,967	13,730
純資産合計	6,296,585	6,082,980
負債純資産合計	9,774,948	8,950,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,037,714	8,626,547
売上原価	6,908,141	7,333,399
売上総利益	1,129,573	1,293,147
販売費及び一般管理費	1,213,078	1,316,625
営業損失(△)	△83,505	△23,477
営業外収益		
受取利息	10	15
受取配当金	1,440	1,433
持分法による投資利益	43,910	65,243
その他	13,192	18,693
営業外収益合計	58,554	85,386
営業外費用		
支払利息	2,829	2,167
支払手数料	6,313	19,614
その他	110	1,345
営業外費用合計	9,253	23,127
経常利益又は経常損失(△)	△34,203	38,781
特別利益		
投資有価証券売却益	16,031	-
特別利益合計	16,031	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△18,171	38,781
法人税等	21,537	△12,564
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,708	51,345
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,708	51,345



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,708	51,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	△1,600
持分法適用会社に対する持分相当額	203	5,362
その他の包括利益合計	398	3,762
四半期包括利益	△39,310	55,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,310	55,108
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△18,171	38,781
減価償却費	69,824	76,278
のれん償却額	10,654	10,654
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△9,280	8,593
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△293	27
受取利息及び受取配当金	△1,451	△1,449
支払利息	2,829	2,167
持分法による投資損益(△は益)	△43,910	△65,243
投資有価証券売却損益(△は益)	△16,031	-
売上債権の増減額(△は増加)	815,409	1,133,756
たな卸資産の増減額(△は増加)	△302,837	△226,052
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,548	2,110
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,507	66,414
賞与引当金の増減額(△は減少)	△88,418	△153,760
未払消費税等の増減額(△は減少)	△69,556	△104,392
その他の負債の増減額(△は減少)	△47,759	△10,751
その他	△212	△8,836
小計	276,738	768,298
利息及び配当金の受取額	48,512	68,675
利息の支払額	△2,820	△2,106
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△109,642	△41,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,788	793,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△560	△11,687
無形固定資産の取得による支出	△65,935	△6,921
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△50,000
投資有価証券の売却による収入	28,384	3,544
貸付金の回収による収入	-	140
その他	△4,416	24,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,527	△40,280
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△211,665	△113,332
配当金の支払額	△67,572	△101,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579,237	△514,891
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△433,976	237,917
現金及び現金同等物の期首残高	1,590,614	1,174,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,156,637	1,412,056

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の持分法適用会社である株式会社HBA(以下「HBA」という。)は、2019年7月31日付で行われた当社との資本業務提携契約の締結に伴い、2019年8月2日付で当社株式を取得いたしました。これにより、HBAが保有する当社株式について、当社の持分相当額を四半期連結貸借対照表において自己株式として計上しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が166,684千円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は325,928千円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,608,083	1,651,381	778,249	8,037,714	—	8,037,714
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	257,563	360	173,270	431,193	△431,193	—
計	5,865,646	1,651,741	951,520	8,468,907	△431,193	8,037,714
セグメント利益 又は損失(△)	△82,020	76,052	△12,589	△18,557	△64,947	△83,505

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△64,947千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,568,570	2,316,852	741,125	8,626,547	—	8,626,547
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	310,109	3,097	160,981	474,188	△474,188	—
計	5,878,679	2,319,950	902,106	9,100,736	△474,188	8,626,547
セグメント利益 又は損失(△)	△97,838	145,216	△36,451	10,926	△34,403	△23,477

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△34,403千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(報告セグメント変更等に関する事項)

期初に行った組織変更に伴い、前連結会計年度まで「その他事業」に所属しておりましたEC/W eb系業務およびコンサルティング業務の一部(コンサルティング業務から派生した開発・運用工程部分)を、それぞれ「システム開発事業」「S I 事業」へ移管いたしました。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。